

郡山の団体 冊子発行、肢体不自由介護方法を紹介

郡山市の郡山養護学校に通う肢体不自由児と保護者らでつくる任意団体はっぴいスマイルは「身体にハンディキャップのある子どもとその保護者のための情報冊子」を4日までに発行した。

肢体不自由児向けの介護のノウハウを多くの人と共有し、役立ててもらうために会員らの経験をもとにまとめた。脱着が容易な水着をはじめ、子どもの口に合わせて角度を変えられるスプーン、浴室での滑り止めマットの活用例などを「衣」「食」「住」のテーマごとに紹介している。

介護に悩んだ際の相談相手や対応方法などのアンケート結果も掲載した。進行性筋ジストロフィーやダウン症候群などの子どもたちが生まれてから小学校入学までの体験談も、保護者の葛藤や悩みも含め

て盛り込んでいる。

冊子はA5判34ページ。公益信託うつくしま基金の助成で800部を印刷し、保護者や医療機関、福祉・介護の関連団体などに配布した。情報冊子のデータをホームページで公表している。

佐藤千夏子代表は「冊子の内容を、肢体不自由児に限らず、高齢者らに対する介護の負担軽減に役立ててもらいたい」と話している。

同グループには親子27組が参加しており、保護者向けの講習会・勉強会、親子向けイベントなどを開催している。問い合わせは同グループ メールアドレス happysmile.8419@gmail.com

(福島民報・福島 2016年2月5日)